

【在籍数】男子56名、女子57名、計113名

【学年主任】早川 健太郎

《学年の実態》

明るい雰囲気では賑やかに過ごしている。メリハリがあり、やるべき場面ではしっかり状況を理解し、取り組める生徒が多い。一方で一部の生徒は、幼い行動が目立つ。安易なネガティブな発言や身体に触れる行動が多い。授業に関しては、全体に対して分かりやすい簡潔な指示を必要とし、個別に対しても声かけや支援を丁寧に行うことが大切である。一生懸命に取り組もうとする生徒が多いので、学年全体で目標を共有し、同じ方向で取り組むことができれば、大きな力となる可能性がある。

1. 学年目標

(1) 広い知性

学習規律を確立し、基礎学力を高め、自己の将来をしっかりと考える。

(2) 豊かな心

自己を見つめ他者を認める力を養い、集団の中で高めあいながら、自ら考え成長する。

(3) 健やかな身体

自他のためによく動き、よく笑い、心身の健康を心がけ、何事にも積極的に挑戦する。

(4) 自立に向かう行動

今すべきことを自ら考え、自らが行動する。

2. 学年経営方針

(1) 生活指導が発生した際には、情報共有を素早く行い、学年全教員の協力体制を意識した指導を心がける。

(2) 生徒理解を重んじ、生徒との信頼関係を築きながらも、毅然とした姿勢で指導を行う

(3) 日々の授業を大切にし、家庭学習を促し、生徒の自己実現を支援する。

(4) 保護者との信頼関係・協力体制を築くとともに、家庭と連携してひとりひとりを大切に育む。

3. 指導の重点

・授業規律の確立を目指し、安心して学習できる環境をつくる。

・家庭学習を推奨し、基礎・基本の定着を図る。

・学級指導の充実を図り、学校における生活習慣の基礎をつくる。

・教員相互の情報交換を密にし、生徒理解に努める。

・毅然とした姿勢で指導にあたり、善悪を正しく判断させる。

・個性を認め合い、個性を尊重しあう心を育む。

・他者への思いやりや感謝の心を育む。

・リーダーを育成するとともに生徒主体の自治力を高める。

・自己をよく理解し、将来の進路についての関心を高め、進んで自己の進路を実現しようとする生徒を育成する。

4. 経営方針の具体策

・学活、授業、集会、給食、清掃など、生徒と共に活動し、時間厳守の徹底を図る。

・問題行動を未然に防ぐために、日頃の生徒をよく観察する。

・身だしなみや自分の身の回りの学習環境の整備をきちんとさせる。

・タブレット端末の使い方を観察し、誤った使用方法に対して組織的に指導する。

・教員が自ら挨拶を行い、挨拶の励行を徹底する。

・授業規律を確立し、授業を大切にすることを意識させる。

・係・委員会・給食・清掃等、学校生活のさまざまなにおいて、役割を与え最後まで取り組ませることで、責任感を育む。

・錦中コンテスト、定期試験等を活用して、学習意欲をもたせると共に基礎学力充実のための時間を設定する。

・学年教員全員が、全クラスの担任であるという意識をもち、生徒とコミュニケーションをとることを意識する。

・学年教員が生徒一人ひとりの良さを発見し、認め合う雰囲気づくりを行う。

・学年便りを定期的に発行し、生徒の様子を伝え、学校・保護者間の連携の一助とする。

・定期的に生徒一人一人の内面を書かせる機会を設け、悩みのある生徒は対応する。